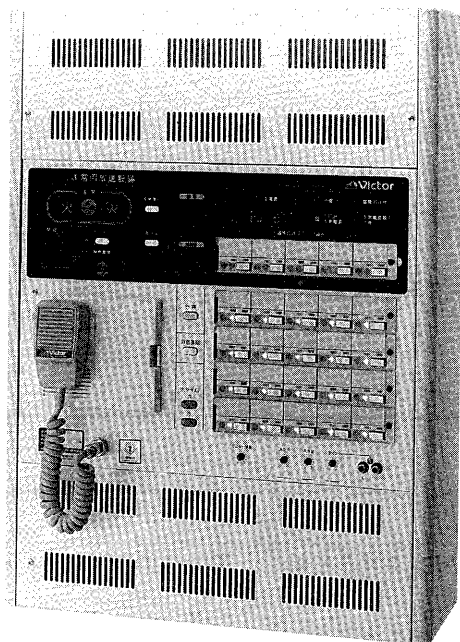


非常通常放送装置

型名 **EM-K80Dシリーズ**



(写真は、EM-K80D-20です)



販売店様へ

本システムの設定状態を7ページに
記入のうえ、お客様へお渡してください。

— お買いあげありがとうございます —
ご使用前にこの「取扱説明書」と「安全上のご注意」を
よくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に大切に保管してください。

正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味について、「安全上のご注意」に詳しく記載されていますので、その内容をよく理解してから本文をお読みください。

	警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は、注意（警告を含む）を促す内容があることをお知らせするものです。



⊘記号は、禁止の行為であることをお知らせするものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

分解禁止



分解禁止

■ この機器を分解・改造しないでください。火災、感電、誤動作の原因となります。本機の移動や、システムの変更などを行うときは、お買い上げ販売店、保守点検業者またはビクターサービス窓口へご相談ください。



■ 本機の上部や操作面の通風孔をふさがしないでください。通風孔をふさぐと機器内部の温度が上昇し、火災の原因となります。
■ 本機の内部に水・金属類や燃えやすいものなどを入れないでください。火災や故障の原因となります。





■ 万一、煙がでている、変なにおいがするなどの異常が発生した場合は、すぐに電源分電盤のスイッチを切り、お買い上げ販売店、保守点検業者またはビクターサービス窓口へご連絡ください。
■ 落雷により不具合が発生した場合は、すみやかにお買い上げ販売店、保守点検業者またはビクターサービス窓口にご連絡ください。

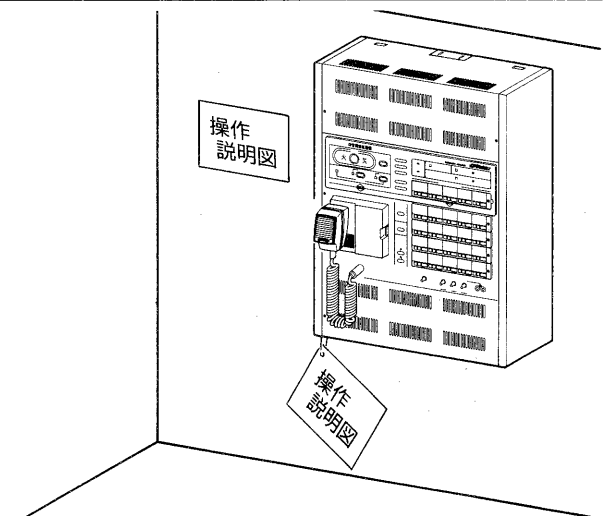


■ 本機用の電源分電盤のスイッチは保守点検時や緊急時以外には切らないでください。本機は、停電時にも放送できるよう非常蓄電池を内蔵し常に充電しています。
■ 本機の周囲に物を置かないでください。非常時の操作の妨げにならないように左右0.3m以内、操作面前方1m以内には物を置かないでください。

操作説明図について

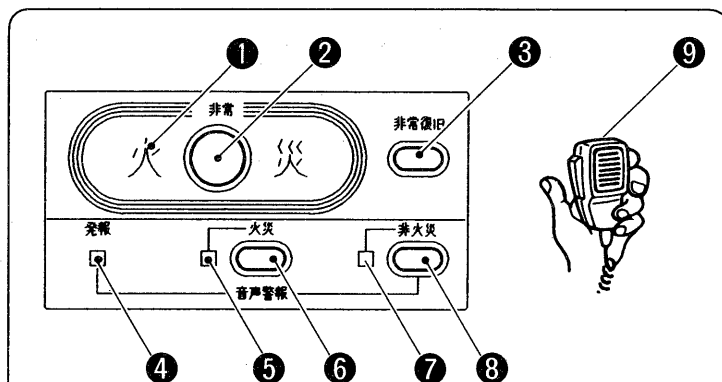
付属の操作説明図は非常時に確実に操作できるように本機の近くに掲示してください。

	警告
本機の上にはけっして置かないでください。通風孔がふさがり、機器内部の温度が上昇し、火災の原因となります。	
	



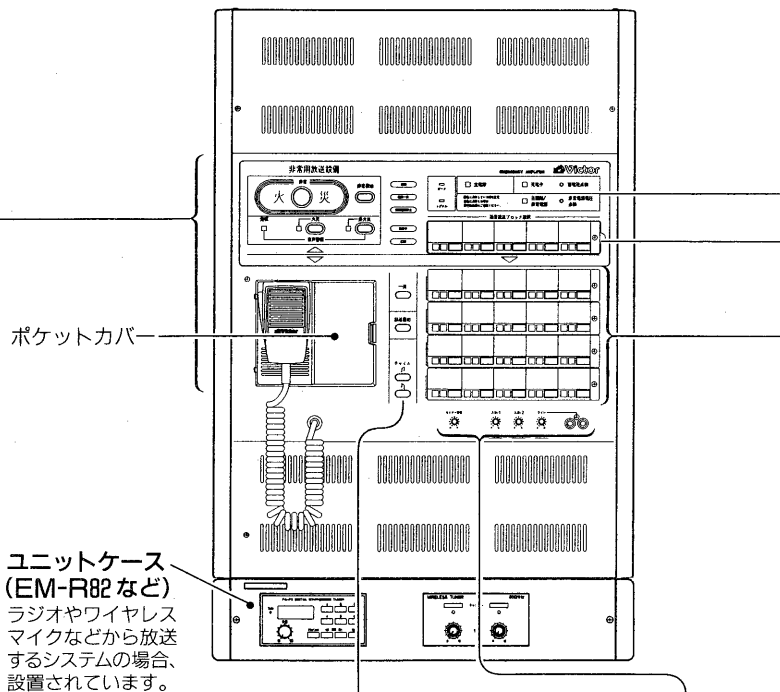
各部のなまえとはたらき

■ フロントパネル



- ① 火災灯 (赤)**
自動火災報知設備等から信号を受信した時と、手で非常起動スイッチを押した時、点灯します。
- ② 非常起動スイッチ**
手で非常放送を行う時に押します。
- ③ 非常復旧スイッチ**
非常放送を終了する時に押します。
- ④ 発報放送表示灯 (橙)**
発報放送中に点灯します。
発報放送中にマイクで放送した後や、発報放送の自動音声終了後の火災音信号(ピーツ、ピーツ...)が鳴動中は点滅します。
- ⑤ 火災放送表示灯 (赤)**
火災放送中に点灯します。
火災放送中にマイクで放送した後などは点滅します。
- ⑥ 火災放送スイッチ**
火災放送(火災時の自動音声)を放送する時に押します。
- ⑦ 非火災放送表示灯 (緑)**
非火災放送中に点灯します。
非火災放送の自動音声終了後などは点滅します。
- ⑧ 非火災放送スイッチ**
非火災放送(火災ではない時の自動音声)を放送する時に押します。
- ⑨ アナウンスマイク**
非常通常放送兼用のマイクです。
側面のマイクスイッチを押しながらアナウンスを行います。
(マイクスイッチを押すと、ハウリングを防止するため、モニタースピーカーの出力は切れます。)

20回線の例



ユニットケース (EM-R82 など)
ラジオやワイヤレスマイクなどから放送するシステムの場合、設置されています。

- ⑩ 一斉放送スイッチ**
すべてのスピーカー (すべての回線) より放送する時に押します。
- ⑪ 放送復旧スイッチ**
放送を終了する時に押します。
- ⑫ アップチャイムスイッチ**
- ⑬ ダウンチャイムスイッチ**
4音チャイムを放送する時に押します。
放送の開始や終了の合図に利用します。

⑭ モニター音量

⑮ 入力1音量

⑯ 入力2音量

⑰ ライン音量

⑱ ライン入力 (ピンジャック -20dBs)

モニター音量を調節します。モニタースピーカーはポケットカバー内にあります。

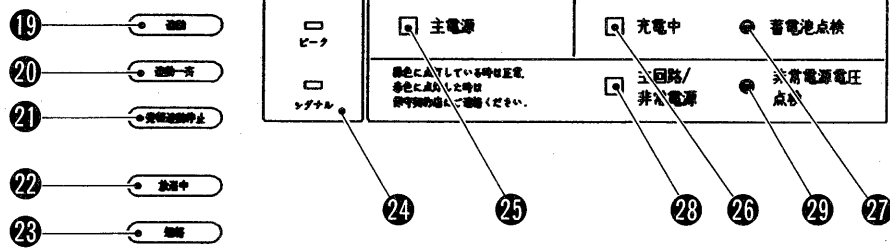
入力1の音量を調節します。

入力2の音量を調節します。

ライン入力の音量を調節します。

CDプレーヤーやカセットデッキなどの出力を接続します。L, R入力は、内部でミキシングされます。

- ⑭ モニター音量**
モニター音量を調節します。
モニタースピーカーはポケットカバー内にあります。
- ⑮ 入力1音量**
入力1の音量を調節します。
- ⑯ 入力2音量**
入力2の音量を調節します。
- ⑰ ライン音量**
ライン入力の音量を調節します。
- ⑱ ライン入力 (ピンジャック -20dBs)**
CDプレーヤーやカセットデッキなどの出力を接続します。L, R入力は、内部でミキシングされます。
(入力2、ライン入力、ワイヤレスマイク、ラジオの音量は、アナウンスマイク、入力1、チャイムの音が入ると設定された音量まで下がります。設定を変更する場合は、お買い上げ販売店、保守点検業者またはビクターサービス窓口にご連絡ください。)



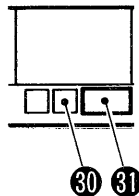
- 19 連動表示灯(緑)**
- 20 連動一齐表示灯(緑)**
- 21 発報連動停止表示灯(橙)**
- 22 放送中表示灯(緑)**
本機で放送している時、点灯します。
作動表示灯が点灯し、放送中表示灯が消灯している場合は、他の放送機器から放送しています。
- 23 短絡表示灯(赤)**
スピーカー回線が短絡(ショート)した時、点灯します。
- 24 音声出力(ピーク(赤)、シグナル(緑))表示灯**
スピーカーの出力レベルを表示します。

自動火災報知設備からの火災信号受信時の動作状態を示します。

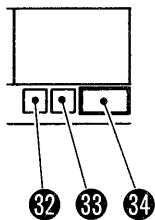
- 25 主電源表示灯(緑)**
常用電源(AC100V)が供給されている時、点灯します。
常用電源が停電時は消灯します。
- 26 充電中表示灯(緑)**
非常用蓄電池が充電されている時、点灯します。
- 27 蓄電池点検スイッチ**
非常用蓄電池を点検する時に押します。
異常の場合は約10秒後に警告音が鳴り、ポケットカバー内の蓄電池異常表示灯が点灯します。
- 28 主回路/非常電源表示灯**
- 29 非常電源電圧点検スイッチ**
(正常時：緑、異常時：赤)
通常時、28は主回路の電源電圧の状態を表示します。
29を押すと非常電源の出力電圧の状態を表示します。
どちらも緑色に点灯していれば、正常です。

注意

放送を行っていない時に音声出力表示灯が点灯している場合は、放送機器間の接続不良が考えられます。そのままにしておくこと故障の原因となりますので、お買い上げ販売店、保守点検業者、ビクターサービス窓口へご連絡ください。



- 30 通常放送ブロック作動表示灯(緑)**
放送している場所を示します。
- 31 通常放送ブロック選択スイッチ**
放送する場所を選択します。
通常放送時のみ使用できます。



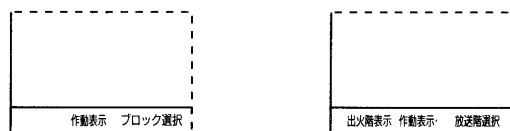
- 32 出火階表示灯(赤)**
感知器や発信機等の発報場所を示します。
- 33 作動表示灯(緑)**
放送している場所を示します。また、点滅により短絡(ショート)したスピーカー回線を示します。
- 34 放送階選択スイッチ**
放送する場所を選択します。
非常放送時でも通常放送時でも使用できます。

ネームカードについて

付属のネームカードに放送先の名称を記入し、切りはなしてご使用ください。(既に設置時に記入されている場合があります。)

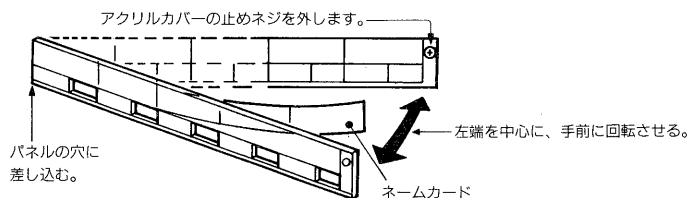
アクリルカバーは右側のネジをはずすことではずれます。

アクリルカバー内のスイッチやボリュームは操作しないでください。内部のプログラムが変更され、誤動作の原因となります。



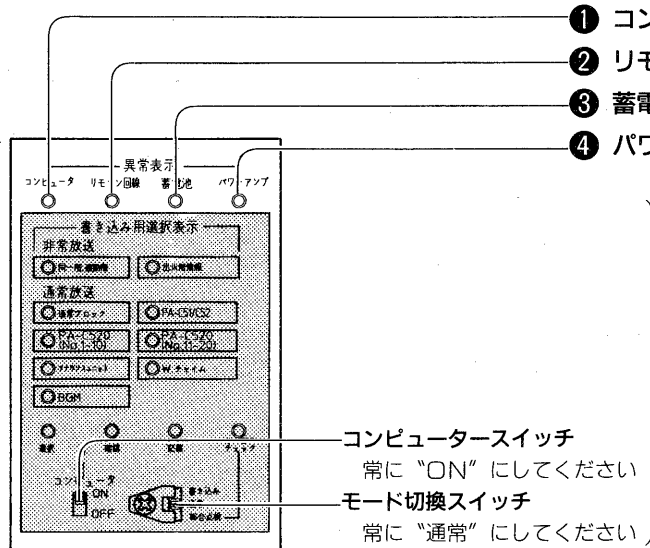
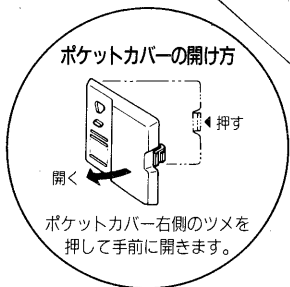
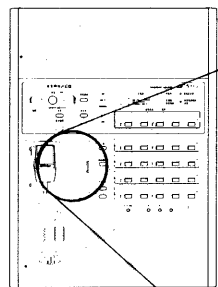
通常放送ブロック
選択スイッチ用

放送階選択スイッチ用



各部のなまえとはたらき(つづき)

■ ポケットカバー内



操作しないでください。
内部のプログラムが変更され、
誤動作の原因となります。

- ① コンピューター異常表示灯 (赤)
本機内蔵のコンピューターの動作に異常が発生した時、点灯します。
- ② リモコン回線異常表示灯 (赤)
非常通常遠隔操作器 (EM-C80Dシリーズ) やリモートマイクロホン (PA-C520) との接続回線に異常が発生した時、点灯します。
- ③ 蓄電池異常表示灯 (赤)
非常用蓄電池に異常が発生した時、点灯します。
- ④ パワーアンプ異常表示灯 (赤)
パワーアンプの動作に異常が発生した時、点灯します。

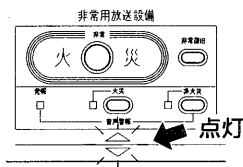
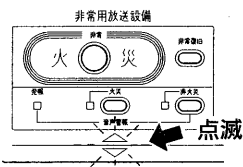
異常表示灯が点灯しているときは速やかにお買い上げ販売店、保守点検業者、ビクターサービス窓口へご連絡ください。
異常時の警告音は放送復旧スイッチを押すと停止します。

■ 操作案内システムについて

本機は非常放送時の操作を操作指示灯により案内する操作案内システムを採用しています。

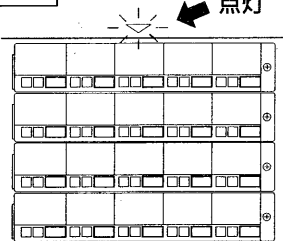
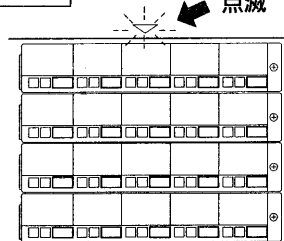
点滅時

点灯時



点滅時

点灯時

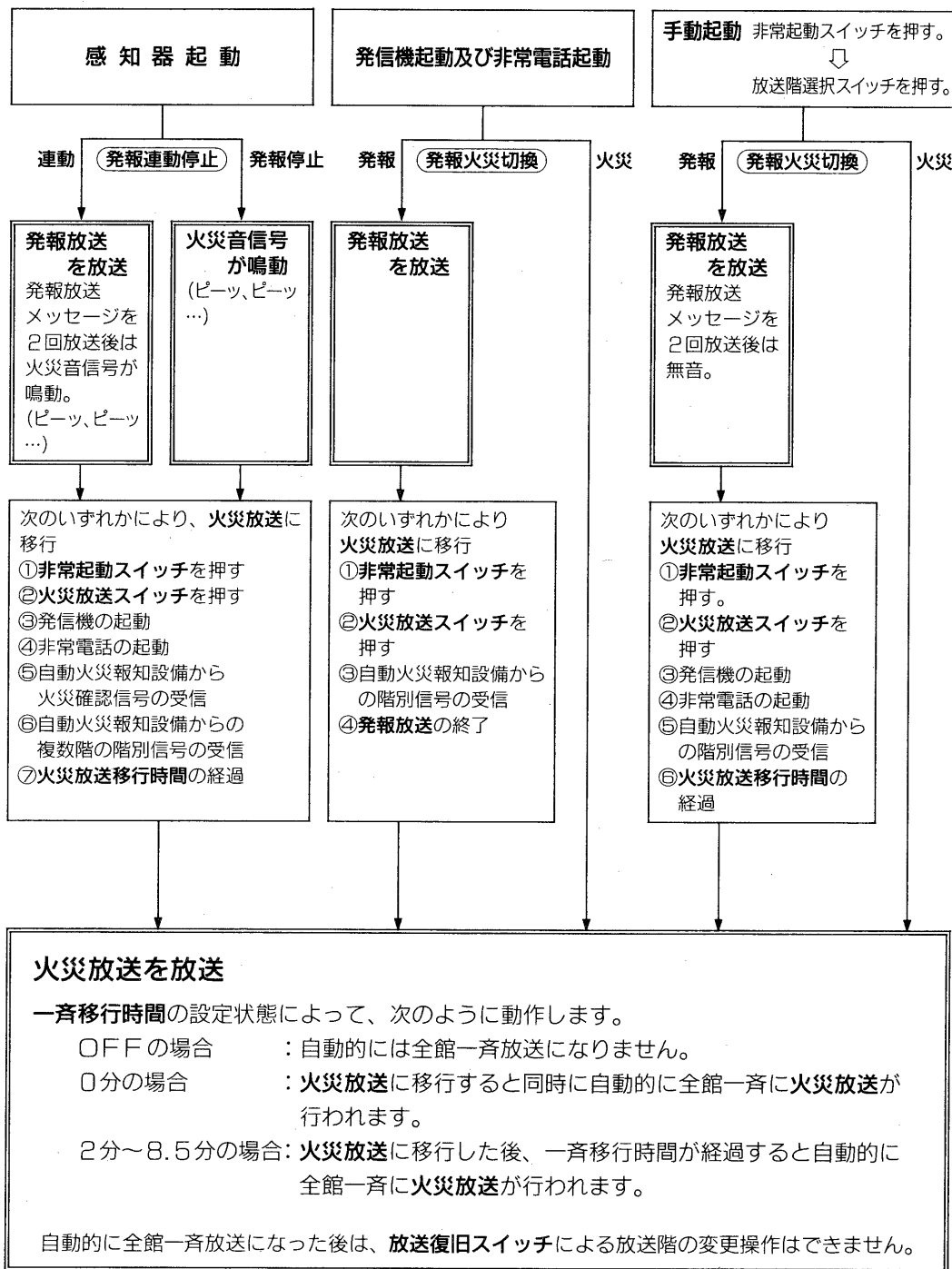


放送階選択スイッチまたは一齐放送スイッチを押してください。

放送中です。
放送階を追加するときは、追加したい階の放送階選択スイッチを押してください。

非常放送の動作について

非常放送時には次の流れにしたがって動作します。



販売店様へ
本システムの設定状態を記入のうえ、お客様へお渡してください。
(設定状態を□内に✓印で記入してください。)

発報運動停止

- 連動
- 発報停止

発報火災切換

- 発報
- 火災

火災放送移行時間

□ 分

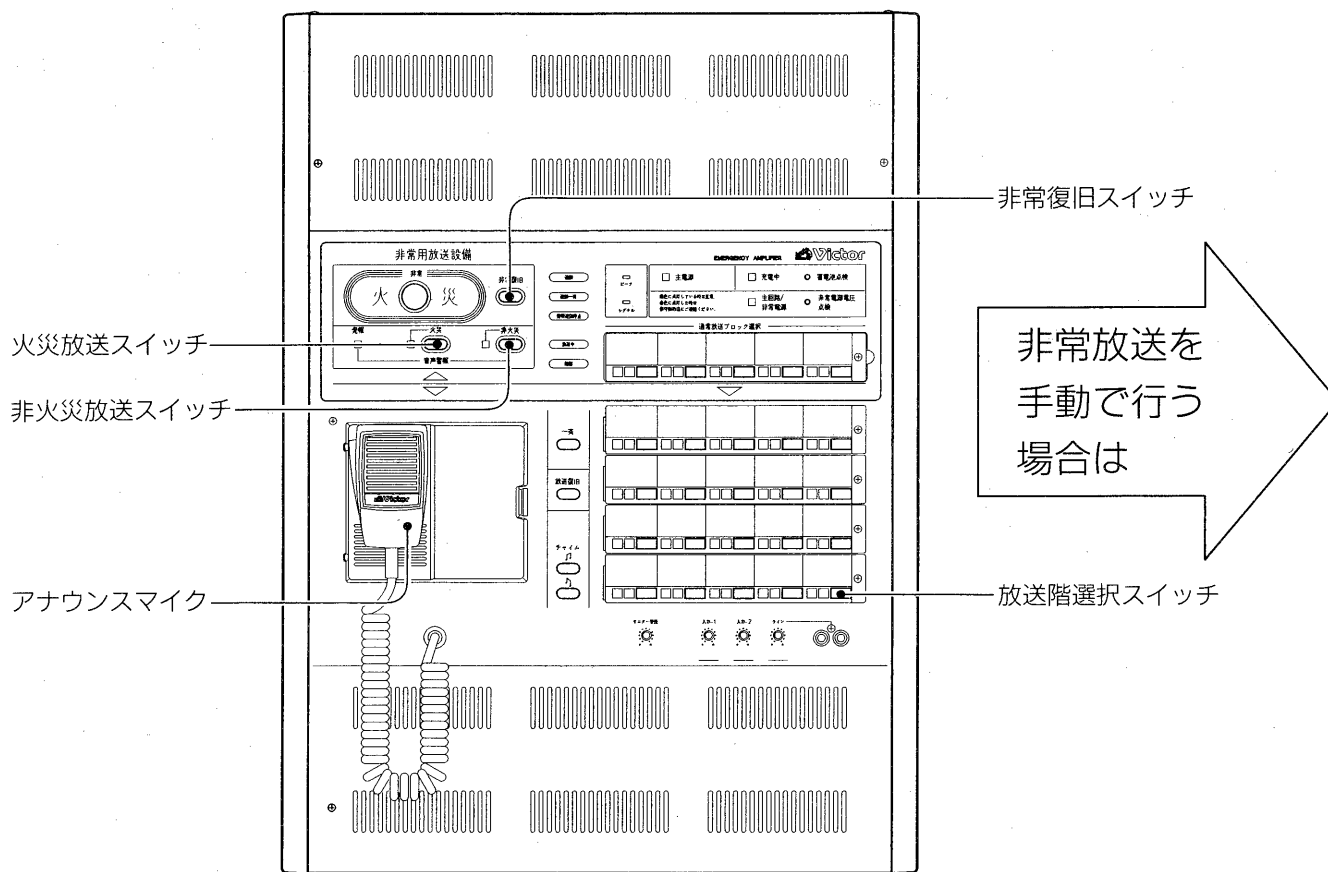
一斉移行時間

OFF
□ 分

非火災を確認した場合は、**非火災放送スイッチ**を押してください。
非火災放送に移行し、非火災放送メッセージを2回放送します。

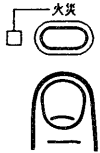
発報運動停止、発報火災切換、火災放送移行時間、一斉移行時間はあらかじめお買い上げ販売店が設定しています。設定内容についてのお問い合わせや変更等については、お買い上げ販売店、保守点検業者、ビクターサービス窓口にご相談ください。

非常放送のしかた



火災を確認する。

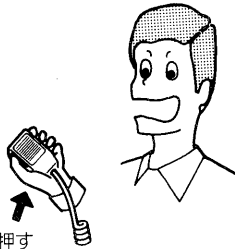
火災放送メッセージの
放送を行う場合



火災放送スイッチを
押す。

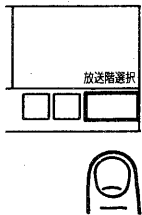
メッセージ内容
「火事です。火事です。
〇〇で火災が発生しました。
落ち着いて避難してください。」

非常マイク放送を行う
場合



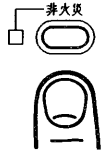
マイクスイッチを押し
放送を行う。

放送場所の追加を行う
場合



追加したい放送場所の
放送階選択スイッチを
押す。

非火災放送メッセージ
の放送を行う場合

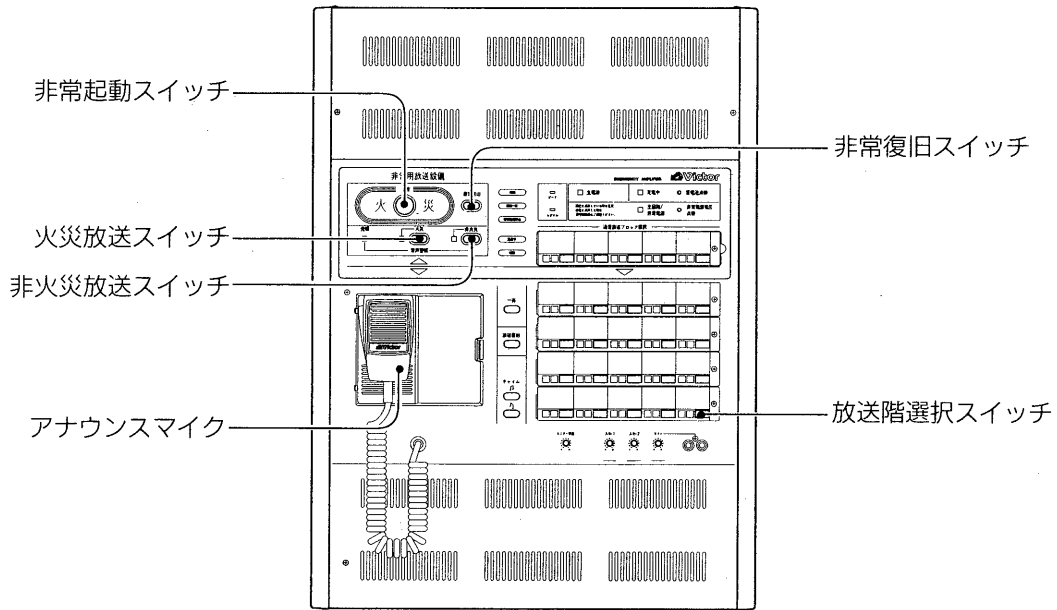


非火災放送スイッチを
押す。


メッセージ内容
「さきほどの火災感知器の作動
は、確認の結果、異常がありま
せんでした。
ご安心ください。」

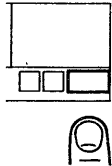
非常放送の復旧時には、自動火災報知設備の非常状態を解除した後、非常復旧スイッチを押す。

非常放送を手動で行う場合

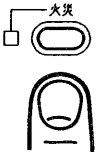


火災を確認する。

 非常起動スイッチを押す。

 放送階選択スイッチを押す。

火災放送メッセージの放送を行う場合



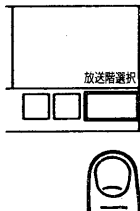
火災放送スイッチを押す。
 メッセージ内容
 「火事です。火事です。
 火災が発生しました。
 落ち着いて避難してください。」

非常マイク放送を行う場合



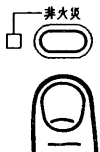
マイクスイッチを押す
 放送を行う。

放送場所の追加を行う場合



追加したい放送場所の放送階選択スイッチを押す。

非火災放送メッセージの放送を行う場合

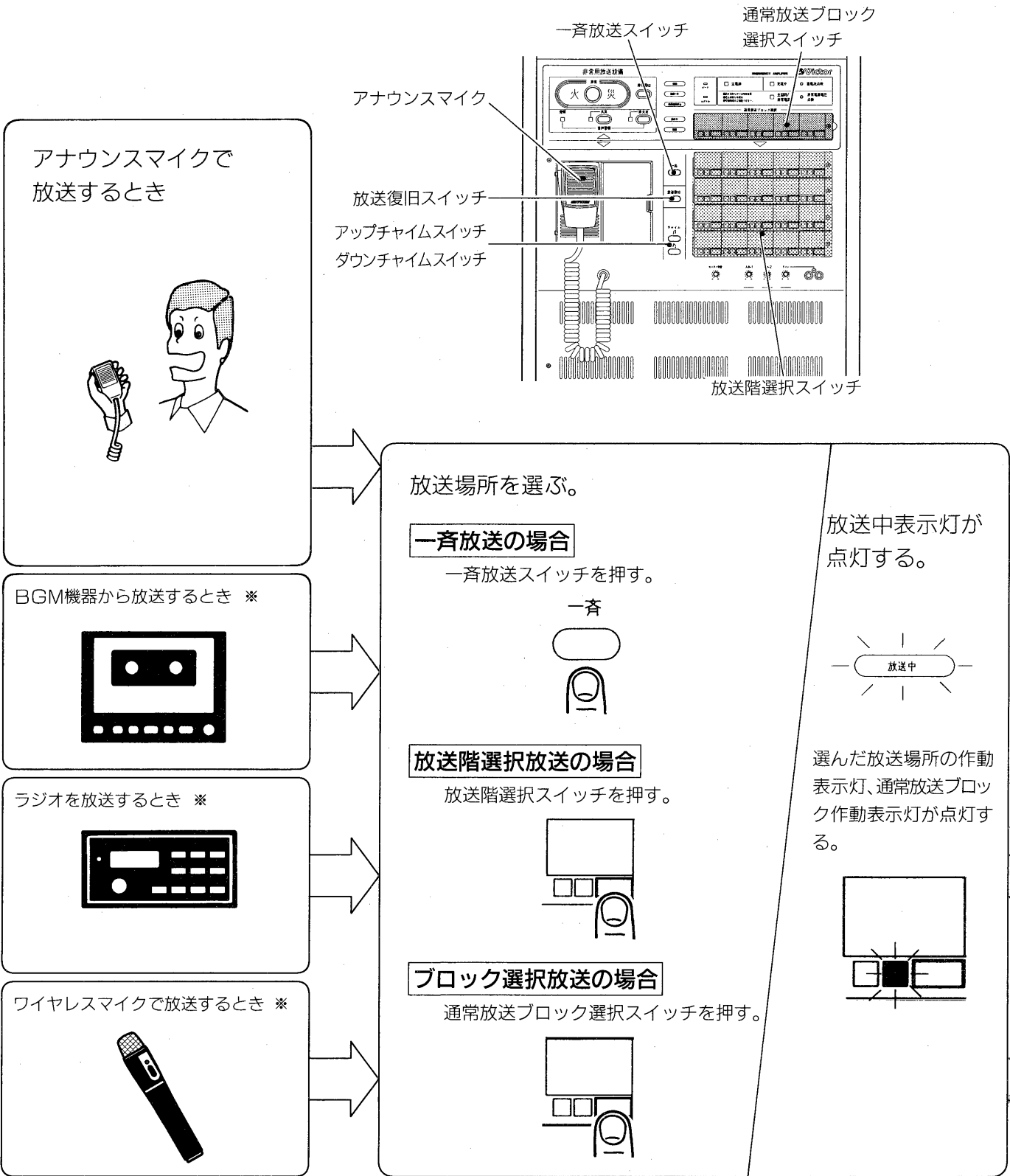


非火災放送スイッチを押す。
 メッセージ内容
 「さきほどの火災感知器の作動は、確認の結果、異常がありませんでした。
 ご安心ください。」

非常放送の復旧時には、自動火災報知設備の非常状態を解除した後、非常復旧スイッチを押す。

通常放送のしかた

通常放送とは、案内やBGMなど、非常放送以外の一般放送のことです。

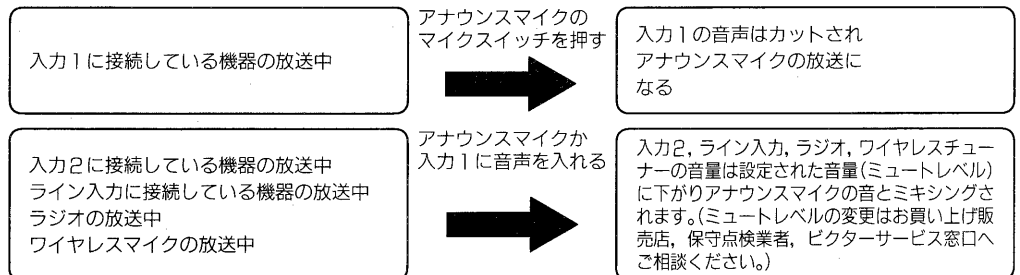


これ以外の音響機器を使用の場合も同じ手順で操作ください。

※ システムによって、放送できる機器が異なります。システムの変更は、お買い上げ販売店、保守点検業者、ビクターサービス窓口へご相談ください。

本機操作時の優先関係について

本機を操作する放送においては、アナウンスマイクからの放送が他の放送機器より優先します。



マイクスイッチを押し、
放送を行う。

マイクスイッチ

アナウンスマイク



放送の前後にチャイムを鳴らすときは、アップチャイムスイッチ、ダウンチャイムスイッチを押す。

アップチャイム
スイッチ

ダウンチャイム
スイッチ

チャイム



放送を終了するときは、放送復旧スイッチを押す。

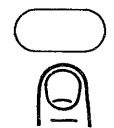
1 BGM機器を動作させる。

2 音量を調節する。

操作方法については、各機器の取扱説明書をお読みください。



放送復旧

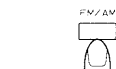
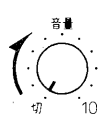


1 電源を入れる。

2 バンドを選ぶ。

3 放送局に合わせる。

4 音量を調節する。



1 回押すたび次のように切り替わります。

FM1→FM2→AM



3 選曲ボタンを押す。



1 使用マイクのグループ番号、チャンネル番号を確認する。

2 ワイヤレスマイクの電源を入れる。



LED点灯

ワイヤレスチューナーの表示ランプが点灯する。



3 適正音量に調節する。



ワイヤレスマイク

——カセットレコーダーやラジオなどの音をモニターするには——

本機に接続されている機器(カセットレコーダー、ラジオ、CDプレーヤーなど)は次の操作を行うことでモニターすることができます。

- ① 放送階選択スイッチのうちどれかを押す。
- ② ①で押したスイッチを再度押す。
作動表示灯は消灯しますが、放送状態が継続します。
- ③ モニターしたい機器を演奏させる。
この状態では、モニターしている音はスピーカー回線へ出力されません。
- ④ モニターを終えるときは、放送復旧スイッチを押す。

放送終了時、放送復旧スイッチのかわりに選択した放送階選択スイッチを再度押すと、作動表示灯(緑)は消灯しますが放送中を表示したままで放送状態が継続します。放送終了後は必ず放送復旧スイッチを押してください。

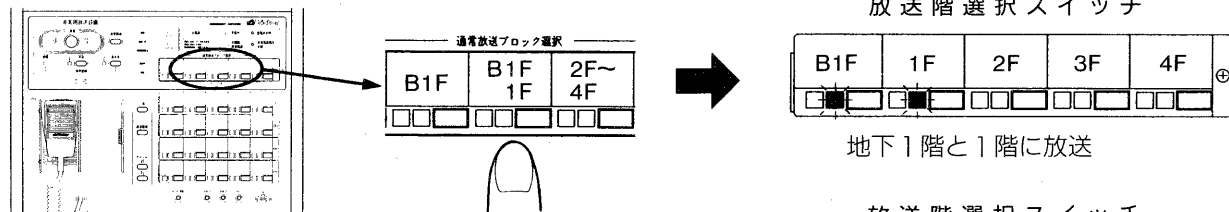
通常放送のしかた (つづき)

■ 通常放送の放送場所の選択について

本機は通常放送ブロック選択をはじめリモートマイクロホンやBGM機器の放送場所を任意に選択できる機能を持っています。

(例)

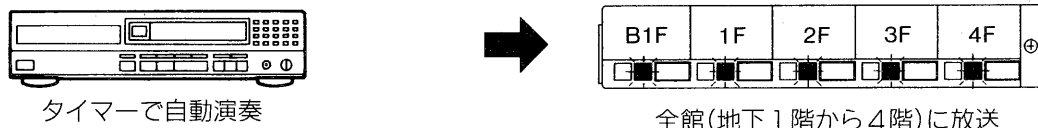
通常放送ブロック選択



リモートマイクロホン



BGM機器



これらは設置時に設定されています。

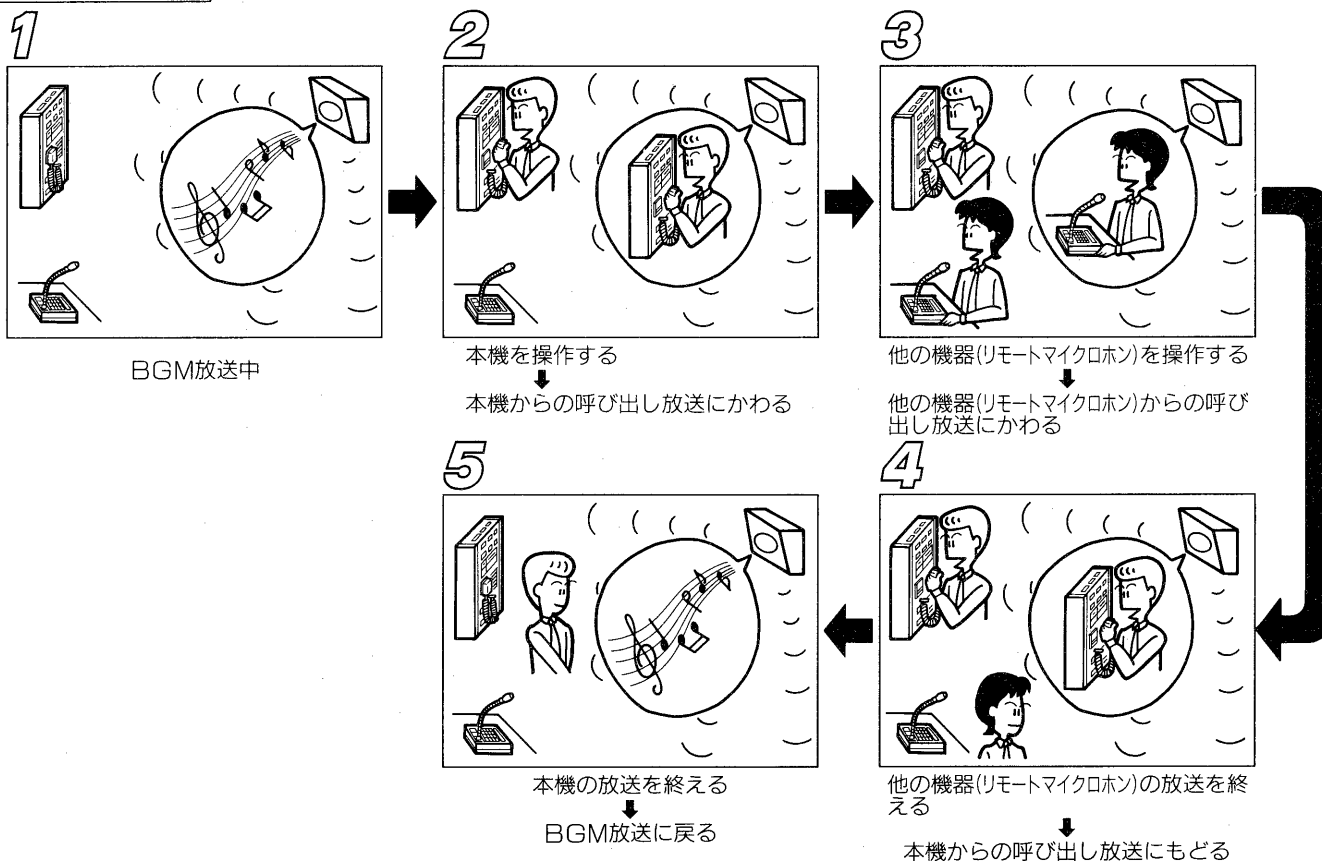
変更が必要になった場合、お買い上げ販売店、保守点検業者またはビクターサービス窓口にご連絡ください。

■ 本機以外の放送機器との優先関係について

通常放送中は、あとから操作した放送機器が優先して放送されます。(あと押し優先)

(ただしシステムによってはあとから操作した場合でも優先して放送できない場合があります。
システムの状態についてはお買い上げ販売店、保守点検業者、ビクターサービス窓口へご相談ください。)

優先関係の例



日常点検について

非常時に的確に機器が動作するように日常点検を行ってください。

異常を発見したときは、ただちにお買い上げ販売店、保守点検業者またはビクターサービス窓口にご連絡ください。

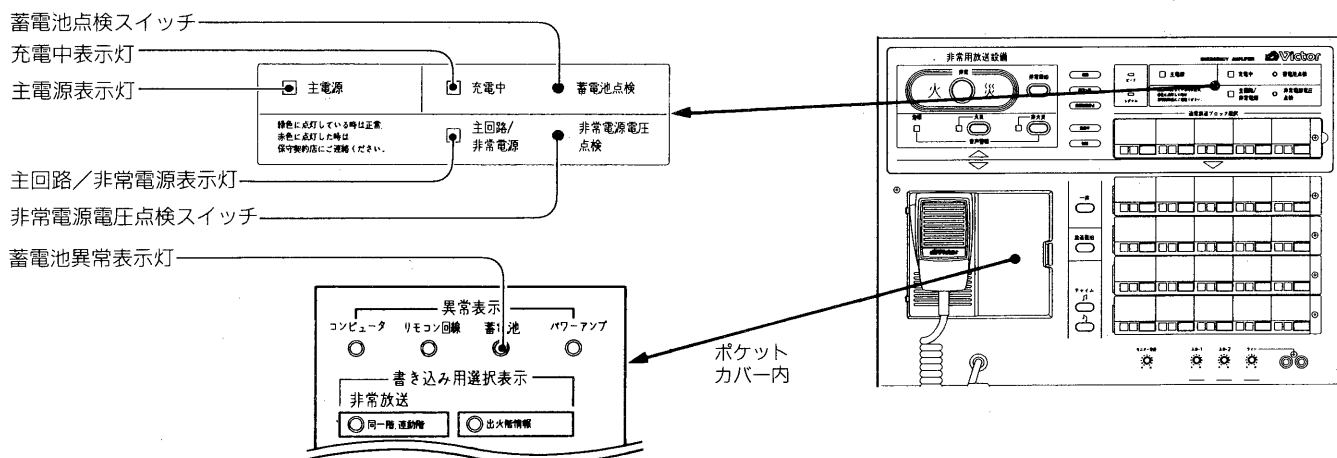
■ 電源の点検について

電源の点検は次のように行ってください。

手動点検の方法

項目	確認内容	正常	異常
① 主電源の点検	主電源表示灯を確認する。	緑色に点灯	消灯
② 主回路の点検	主回路／非常電源表示灯を確認する。 (非常電源電圧点検スイッチは押さない)	緑色に点灯	赤色に点灯
③ 非常電源の点検	非常電源電圧点検スイッチを押し、 主回路／非常電源表示灯を確認する。 (非常電源電圧点検スイッチを押してもブザーは鳴りません)	緑色に点灯 (正常時は緑色のまま変化しません。)	赤色に点灯
④ 充電回路の点検	充電中表示灯を確認する。	緑色に点灯	消灯
⑤ 非常用蓄電池の点検	蓄電池点検スイッチを押し、ポケットカバー内の蓄電池異常表示灯を確認する。 (点検の結果がでるまで約10秒かかります。)	消灯	赤色に点灯 警告音が鳴動

異常の時はすみやかに買い上げ販売店、保守点検契約業者、またはビクターサービス窓口へご連絡ください。
警告音を停止したい場合は、放送復旧スイッチを押してください。

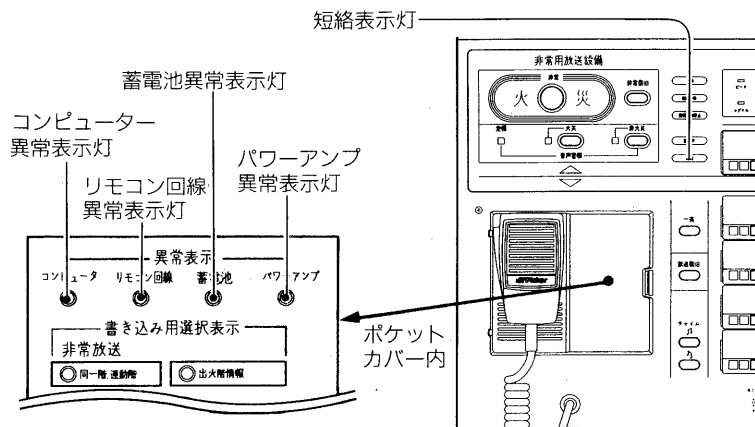


■ 短絡表示灯および異常表示灯の点検について

本機はコンピューターによる自動診断機能を搭載し、機器の状態を監視しています。

異常表示灯や短絡表示灯が点灯している場合は、すみやかに買い上げ販売店、保守点検業者、ビクターサービス窓口へご連絡ください。

異常表示灯が点灯したときは警告音が鳴ります。
警告音を停止するには放送復旧スイッチを押してください。



自動診断機能の内容

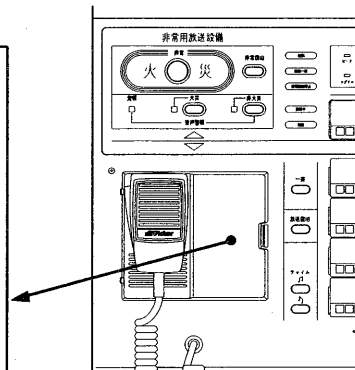
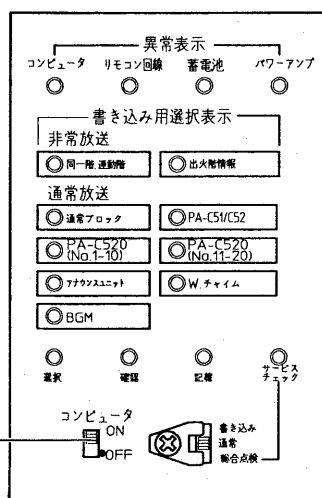
項目	内容	表示
スピーカー回線の短絡の監視	放送中、スピーカー回線の短絡を監視します。	短絡表示灯
リモコン回線の監視	常時、非常通常遠隔操作器 (EM-C80Dシリーズ)、リモートマイクロホン (PA-C520) との通信状況を監視します。	リモコン回線異常表示灯
非常用蓄電池の点検	24時間ごとに非常用蓄電池を放電させ電圧を点検します。	蓄電池異常表示灯
パワーアンプの動作の監視	放送中、パワーアンプの動作を監視します。	パワーアンプ異常表示灯
コンピューターの動作の監視	常時、本機内蔵のコンピューターの動作を監視します。	コンピューター異常表示灯

緊急時、もし機器が動かなくなったら

万一、緊急時に機器が正常に動作しなくなったときは次のような操作でアナウンスマイクから一斉放送を行うことができます。

- ①ポケットカバー内のコンピュータースイッチを“OFF”にする。
このとき警告音が「ピーツ」と鳴ります。
- ②アナウンスマイクで放送する。
- ③放送が終了したらコンピュータースイッチを“ON”にし、速やかにお買い上げ販売店、保守点検業者、ビクターサービス窓口に故障の状態をご連絡ください。

コンピュータースイッチ



仕様

本機の仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。

非常用放送設備

型式名	EM-K80Dシリーズ
許容動作温度範囲	0°C~40°C 結露なきこと
電源	AC100V ミキサー部 DC24V パワーアンプ部より充電
出力制御	10、15、20回線 および一斉 [非常・通常放送兼用]
ブロック放送	最大5ブロック [通常放送専用]
自火報連動	連動、連動一斉
火災確認信号入力	1 (EF)
火災音信号	電子ブザー
音声警報	非常用放送設備委員会認定音
操作スイッチ	非常起動、火災放送、非火災放送、 放送階選択、通常放送ブロック選択、 非常復旧、一斉、放送復旧、 アップチャイム、ダウンチャイム、 蓄電池点検、非常電源電圧点検
表示	火災、発報放送、火災放送、非火災放送、 出火階、作動、連動、連動一斉、 発報連動停止、放送中、短絡、 音声出力(ピーク、シグナル)、主電源、 充電中、主回路/非常電源、 コンピューター異常、リモコン回線異常、 蓄電池異常、パワーアンプ異常
モニタースピーカー	0.45W 音量調節器付 ハウリング防止機能付
非常制御信号	RB制御、無電圧メーク/ブレーク接点
ベル停止出力	無電圧メーク接点

ミキサー部

周波数特性	アナウンスマイク 150Hz -3±2dB (1kHz基準) 15kHz -0.5±2dB (1kHz基準)
その他の入力	50Hz~15kHz 0±2dB (1kHz基準)
歪率	1%以下 (1kHz)
入力レベル、入力回路	入力1、2 -20dBs (-60dBs 平衡) 不平衡 切り換え可能
ライン入力	-20dBs 不平衡 フロントパネル
ユニットケース入力	0 dBs 不平衡 専用コネクター-[CN31]
アナウンスマイク	-42dBs 不平衡 専用コネクター-フロントパネル
W.チャイム入力	-10dBs 不平衡
アナウンスユニット入力	0 dBs 不平衡
BGM入力	-20dBs 不平衡
非常リモコン入力	0 dBs 平衡
通常リモコン入力[PA-C50]	0 dBs 平衡
通常リモコン入力[PA-C520]	0 dBs 平衡
音質調整	入力2、ライン入力、ユニットケース入力のみ調整可能
出力レベル、出力回路	録音出力 0 dBs 不平衡
ミキサー出力	0 dBs 不平衡 専用コネクター-[CN2]
非常リモコン用モニター出力	6 dBs 平衡

パワーアンプ部

周波数特性	100~15kHz 0±1/3dBs (1kHz基準)
歪率	1%以下 (1kHz)
入力レベル	0 dBs 不平衡 600Ω [EM-KA240, -KA360] 5 kΩ [EM-KA80, -KA160]

仕上げ	ホワイト色塗装仕上げ 日塗工：T27-85B (95年版)相当 マンセル：7.5Y8.5/1近似
外形寸法	幅457×高さ622×奥行200mm (EM-KA80, EM-KA160, EM-KA240 組込時)

幅457×高さ632×奥行200mm (EM-KA360 組込時)

仕様 (つづき)

自動音声の種類と内容

次のメッセージは1階の火災感知器が作動したときの例です。

発報放送：シグナル音(パポ、パポ、パポ)+自動放送「ただいま **1階の** 火災感知器が作動しました。係員が確認しておりますので、次の放送にご注意ください。」(女声) 出火階情報

[英語文] Now a fire alarm **on the first floor** has been activated. We are now investigating to confirm. 出火階情報
Please listen carefully for the next announcement.

火災放送：シグナル音(パポ、パポ、パポ)+自動放送「火事です、火事です。 **1階で** 火災が発生しました。落ち着いて避難してください。」(男声)+スワイプ音(フィッフィッフィッ) 出火階情報

[英語文] There is a fire, there is a fire. A fire has started **on the first floor.** 出火階情報
Please evacuate in orderly fashion.

非火災放送：シグナル音(パポ、パポ、パポ)+自動放送「さきほどの火災感知器の作動は、確認の結果、異常がありませんでした。ご安心ください。」(女声)

[英語文] Although the fire alarm have been activated, this is a false alarm. 出火階情報
No trouble was found. Please disregard.

英語文を放送したい場合はお買い上げ販売店、保守点検業者、ピクチャーサービス窓口へご相談ください。

本 型 名	出 力 制 御 (回線数)	組 込 パ ワ ー ア ン プ ユ ニ ット 型 名	定 格 出 力	負 荷 イ ン ピー ダ ン ス	消 費 電 力※1			非 常 用 蓄 電 池	総 質 量 ※2
					電 取 法 に よ る	定 格 出 力 時			
						AC100V	AC100V		
EM-K80D-10	10	EM-KA80	80W	125Ω	107W	240W	150W	NB-165 1.65AH/5HR トリクル充電 50±10mA	21.7kg
EM-K80D-15	15								
EM-K80D-20	20								
EM-K80D-10	10	EM-KA160	160W	63Ω	142W	400W	250W	NB-35B 3.5AH/5HR トリクル充電 100±10mA	26.6kg
EM-K80D-15	15								
EM-K80D-20	20								
EM-K80D-10	10	EM-KA240	240W	42Ω	160W	570W	370W	NB-60 6AH/5HR トリクル充電 180±20mA	24.8kg
EM-K80D-15	15								
EM-K80D-20	20								
EM-K80D-10	10	EM-KA360	360W	28Ω	205W	700W	500W	NB-65 6AH/5HR トリクル充電 180±20mA	25.3kg
EM-K80D-15	15								
EM-K80D-20	20								

※1) 消費電力：本体にパワーアンプユニット、音声警報ユニット、ユニットケース(EM-R82にラジオチューナユニットとワイヤレスチューナーユニット×2)を組込および非常通常遠隔操作器(EM-C80D-20)を4台接続した状態。

※2) 総質量：本体にパワーアンプユニット、音声警報ユニット、非常用蓄電池を組込時。

ユニットケース(EM-R82)

収納可能ユニット

ワイヤレスチューナー WT-UD80×2	} 任意の 2ユニット を組み込み 可能
(WT-P882-Gが必要)	
プログラマブルタイマー PA-TU20	
ラジオチューナー PA-F2-G	

入力レベル、入力回路

ワイヤレスチューナー -10dBs 不平衡 専用コネクター[CN1, 2]
ラジオチューナー -20dBs 不平衡 専用コネクター[CN3]

音声出力、出力回路

ミキサー 0dBs 不平衡 専用コネクター[CN31]

ユニットケース(EM-R83)

収納可能ユニット

ワイヤレスチューナー WT-UD80×2	} 任意の 2ユニット を組み込み 可能
(WT-P882-Gが必要)	
プログラマブルタイマー PA-TU20	
ラジオチューナー PA-F2-G	
カセットレコーダー PA-KU70	

入力レベル、入力回路

ワイヤレスチューナー -20dBs 不平衡 専用コネクター[CN1, 2]
ラジオチューナー -16dBs 不平衡 専用コネクター[CN3]
プログラマブルタイマー -6dBs 不平衡 専用コネクター[CN33]
カセットレコーダー -25dBs 不平衡 専用コネクター[CN35]

音声出力、出力回路

ミキサー 0dBs 不平衡 専用コネクター[CN31]
タイマー -10dBs 不平衡 専用コネクター[CN43]

本システムに関するお問い合わせは

お買い上げ販売店名
☎ - -
保守点検業者名
☎ - -

お客様ご相談センター

東 京

☎ (03)5684-9311 [代表]

〒113 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル

大 阪

☎ (06) 765-4161 [代表]

〒543 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル



システム事業部

〒192 東京都八王子市石川町2969-2 電話 (0426) 60-7243 (ダイヤルイン)